

平成 20 年 2 月 4 日

お客様各位

日本紙パルプ商事株式会社

代表取締役社長 松谷 克

再生紙の古紙配合率問題について

拝啓 平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度の国内製紙会社の再生紙古紙配合率問題につきまして、用紙供給の役割を担う立場の弊社といたしましては、極めて遺憾であり、皆様に多大なるご迷惑をお掛けいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

弊社は、自然環境保全と資源保護に努め、豊かな地球と住みやすい社会の構築への貢献をうたった環境方針のもと、再生紙の需要開拓や環境配慮型製品の開発・販売促進に尽力してまいりました。しかしながら、再生紙古紙配合率の実態を認識できずに皆様に販売してきたことにつきまして、流通の立場として反省し、今後このようなことがない様に努めてまいります。

現在、弊社は製紙各社の乖離製品の把握とお客様への説明及び返品、代替品等の対応に全力で取り組んでおります。代替品の確保につきましては、製品によって製紙各社の供給にも限りがあり、お客様のご了解を得て、暫定的に表示の変更等をしたうえで当該製品を販売させていただいている場合もございます。弊社は、製紙各社に古紙配合率を含めた品質管理の徹底を強く求め、今後もお客様の業務に支障をきたさないことを一番に考えて行動してまいりますので、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

なお、本件に関するお問い合わせは、弊社「経営企画部」までお願い申し上げます。

(03-5201-6216)